

# 手紙指導案

## 千一〇四小

青 梅 第 四 小 学 校  
授 業 改 善  
5 年

10月9日(木)4時間目

### 国語 「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる (5/6)」

#### 本時のねらい

◎要旨を基に、「文化を受けつぐ」ことに対して自分の考えをまとめることができる。(思考力・判断力・表現力)

#### 本時のこだわり

○「文化を受けつぐ」とはということなのか、自分の考えをまとめます！

段階	学習活動	指導 (○) 支援 (▲) 評価 (☆)
導入	1. 単元計画を振り返り、学習の見通しをもつ。 「文化を受けつぐ」ことについて、自分の考えを表そう。	○既習事項を想起させる。
展開1	2. 要旨を振り返り、筆者がどんなことを伝えたい文章だったか確かめる。	○ダウト読みを取り入れることで、「歴史」、「文化」、「支えている人」というキーワードを押さえる。 <b>【仕掛け】</b>
	3. どうすれば文化を受けつぐことができるか考える。	○児童が経験したことのある和の文化を例に、「その文化を自分はどのように受け継いできたのか」「その文化が無くなってしまったら、無くさないためには何ができるか」ということに焦点化して考えさせる。 <b>【焦点化】</b> ▲机間指導をしながら、身近な文化と自分の関わりを想起させるような言葉掛けを行う。
展開2	4. どうすれば文化を受けつぐことができるか、自分の考えをまとめる。	▲話型を提示することで、どの児童も書きやすい環境を整える。 <b>【話型】</b>
	5. 考えを共有する。	○様々な考えに触れさせることで自分の考えを見つめ直すことができるよう、意図的な指名も取り入れたり、児童間対話を促したりする。 <b>【共有化】</b> ○意見を集約し、統合することでまとめの文章を書きやすくする。 ☆「文化を受けつぐ」ことに対して自分の考えをまとめている。(観察・発言・記述)
まとめ	5. 文化を受けつぐことについて、まとめる。	○今日の学習を振り返り、自分にとって文化を受けつぐとはということなのかをノートにまとめる。 ▲話型を提示することで、どの児童も書きやすい環境を整える。 <b>【話型】</b>

